



2023

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は下記まで申込み 「点訳版(点字本)」 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

☆ 淳心会160周年記念ミサ ☆ 若屋オーブンチャーチフェスタ ☆ コラム「兄弟の皆さん」 ☆ ラジオ「信仰の時間」春名昌哉神父 ☆ 聖書講座「新約聖書の神学」 ☆ イエスにならう生き方を求めて(4画) ☆ 聞かせてください、神様と出会った時のこと ☆ 「在留許可を求める子ども」と歩む会設立 ☆ 生きる一難民移住者 ☆ jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。



日本司教団 教皇ベネディクト16世追悼ミサ

偉大な希望を伝えて

©東京教区

教皇ベネディクト16世の追悼ミサが1月10日(火)11時、東京カテドラル聖マリア大聖堂で行われた。大阪教区からは、酒井俊弘補佐司教が参列。日本司教団が教皇大使レオ・ボツカルディ大司教とともに、亡き教皇の永遠の安息のために祈りをささげた。

名誉教皇 ベネディクト16世 逝去



教皇ベネディクト16世(ヨゼフ・ラッツィンガー)は、現地時間12月31日9時34分(日本時間同日17時34分)、退位後の住まいとなったバチカン庭園内のマ

道院で帰天。95歳。ドイツのバイエルン州出身。

1951年、司祭叙階。62年、ケルンのプリングス枢機卿の神学顧問として第2バチカン公会議に参加。77年にミュンヘン・フライジング大司教叙階。司教モットーは「真理の協働者」。同年、枢機卿親任。81年から20年以上にわたり、教皇庁教理省長官を務め、教皇ヨハネ・パウロ2世を側で支えた。2005年、第265代教皇に選出。13年に退位後、祈りの生活を送られた。

追悼ミサ説教で、日本カトリック司教協議会の菊地

功大司教(東京教区)は「深い思索のうちに生きる神学者である教皇ベネディクト16世は、信仰が具体的に生きられることの重要性を強調された方であった」と述べた。例として、2007年の教皇庁定期訪問(アド・リミナ)でのエピソードを紹介。個人謁見の場で「あなたの教区の希望は何ですか」と教皇に尋ねられ、答えて窮したと語った。「福音宣教とは他者との出会いと交わりの中で希望を見出すことだと強調される方だった」と回想した。

「世界は、福音がもたらす希望の知らせを渴望しています。皆様の国のようなきわめて発展した国々においても、経済的な成功や技術の進歩だけでは人間の心を満たすことができないことに多くの人が気づいています。神を知らない人には『究極的な意味で希望がありません。すなわち、人生全体を支える偉大な希望がありません』。人生には職業上の成功や利益を超えたものがあることを、人びとに思い起こさせてください。家庭や社会の中で愛のわざを行うことを通じて、人びとは『キリストの内に神との出会い』へと導かれます。」

【教皇ベネディクト16世、教皇庁定期訪問(アド・リミナ)中の日本司教団への講話 2007年12月16日】

福者ユスト高山右近殉教者 ~講演と列聖祈願ミサ~ 2月4日(土) 14時~17時 司式 前田万葉大司教 大阪カテドラル 聖マリア大聖堂

灰の水曜日 2月22日(水) 【大斎・小斎】 四旬節愛の献金開始 (四旬節中)



新しいミサ式次第使用開始にあたって 新しい歌を主に歌え! 酒井俊弘補佐司教

細かな変更点

昨年11月27日(待降節第1主日)から実施された新しい「ミサ式次第と第1(第4奉献文)」(以下「新式次第」)によるミサが始まって2か月余りが経過しました。皆様そろそろ慣れてきたところかと思いますが、いかがでしょうか。『大阪カトリック時報』紙上でも7回にわたり(2022年4月~10月号)典礼委員会による解説が行われ、皆様への周知と説明に努めてきました。

大きな変更点

実施後の様子を聞いてみると、「言い間違い」は司式者、会衆ともにまだあるものの、大きな混乱なくミサがささげられているようです。むしろ「これまで、惰性的・機械的に唱えていた祈りの言葉も、改めて意味を考える機会になった」という感想のように肯定的に受け止めてくださっている様子もうかがえます。確かに、慣れるまでにはまだまだ時間が必要でしょうが、式文の言葉を噛みしめながら唱えることは、ミサへの行動的参加につながります。

「ミサの賛歌(ミサ曲)」の旋律の楽譜と音源(模範歌唱)は、カトリック中央協議会のウェブサイトからダウンロードできます。ぜひ活用ください



ときまで」となったことが挙げられます。さらに、拝領前の信仰告白の言葉が「主よ、わたしはあなたをお迎えするにふさわしい者ではありません。おことばをいただくだけで救われます」が第一の選択肢となりました。また、言葉としてはわずかでありますが回数として多いのが、ミサの中で5回繰り返される「主は皆さんとともに、またあなたとともに」という対話です。「自分の夫にしか『あなた』なんて言ったことがない……」という戸惑いの声も耳にしました(笑)。回数が多くだけに比較的早く対応されているようです。

なお、カトリック中央協議会のウェブサイトに、儀式書『聖週間の典礼』および『別冊 毎日のミサ聖週間と復活の八日間』の修正一覧がすでに発表されていますが、このうち「別冊……」は改訂版が発行されますが、儀式書の発行の予定はないそうです。新式文に慣れ親しむことを通じて、「新しい歌を主に歌え」(典礼聖歌3番 詩編96章参照)の呼びかけに答えていきましょう。



カトリック淳心会 創立160周年記念ミサ

淳心会は昨年11月28日に創立160周年を迎えた。日本地区では同月30日に、名古屋教区から松浦悟郎司教を招き、会員訪問のためにローマより来日した総長チャールズ・プクタ神父と、日本で宣教活動を行う淳心会の会員と共に、姫路市仁豊野にある聖マリア病院の大聖堂でミサをささげ祝った。このミサを皮切りに、本会の日本宣教75周年のお祝いがスタート。淳心会の創立の歴史と来日までの経緯をうかがった。

淳心会は、ティオフィル・ヴェルビスト神父によりベルギーで創立された宣教修道会、「聖母マリアの汚れなき御心修道会」が正式な名称です。彼は、最初の同志とともに宣教修道会を興し、その目的を非キリスト者の回心、打ち捨てられた多くの児童救済に据えたのです。1862年、この宣教修道会はメヘレン司教区の司教認可を受け、最初のグループが、聖母マリアの巡礼地として名高いブリュッセル郊外のスクートに居をかまえて共同生活を始めました。そのため、ベルギーではその地名から「スクートの宣教師たち」の名で呼ばれるようになりました。これが、通称「スクート会」の由来です。

大阪の田口芳五郎司教の依頼によって本部修道院が設立され、姫路を起点に布教に励んできました。現在、日本地区では、東京・大阪・広島・仙台の各教区で活躍しています。私たちのミッションは共同宣教司牧、働く青年(YCW)への支援、諸宗教との対話、学校、オリエンテス宗教研究所と通信講座の運営を主に取り組み、またこれらの各分野で、谷間に追いやられた人びとを配慮し、正義と平和に取り組むことです。

今年11月に日本宣教75周年を祝う私たちとともに、私たちの宣教活動がさらに続くように皆様、ともに祈りください。

司牧者がリレー形式で若者たちにぜひ読んでほしい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は、Srグロリア・エンシニア・エンシソールアルダナ(マリア布教修道女会・梅田ブロック)が担当。

草され、教皇フランシスコによって完成された回勅です。教皇は、「信じる者は、信仰のたまものを受け入れることにより、新しい被造物へと造り変えられ、新たなあり方、すなわち、子としてのあり方を受け取る(19)」と言います。信仰は、自分自身を変容するようにと招く本物の「光」になるのです。

この本を読んで、私の信仰はさらに強まりました。イエスへの信仰は光であり、私たちの闇を照らす光だからです。ぜひ、この豊かな本を味わい読むことをお勧めします。教会の母であり、私たちの信仰の母であるマリア様と共に歩むことができまよう。

芦屋教会・教会に地域の人を招く オーブン・チャーチ・フェスタ開かれる

日頃は「敷居の高い」といわれる教会の門。その門を開いて敷居をぐっと下げて、地域の人に教会を知ってもらおう取り組みとして、芦屋教会で「オーブン・チャーチ・フェスタ」が行われた。

2022年11月3日(祝・木)、天気に恵まれたこともあり、200人以上の方が教会を訪れ、信徒を中心としたパフォーマンスを観たり、ミニバザーで買い物したり、軽食を楽しんだ。聖堂では、プロとして活動している信徒を中心に、琴演奏、バレエ、弦楽、ゴス

ペルなどが披露され、大きな拍手に包まれた。聖堂前ではミニバザーが行われ、通りすがりの方もぞかれ。信徒館ホールでは、うどん、おにぎり、サンドウィッチなどが提供され、久しぶりに歓談の輪が広がった。「友人が出演するので来

た」という方からは、「生まれて初めて聖堂の椅子に座った。こんなことでもなければ一生教会に来ることはなかった、よかったです」との感想をいただいた。ちょうど阪神電車・阪急電車リアル謎解きゲーム「ナゾときつぷ2022」のイベントも開催されており、聖堂のステンドグラスを見て謎を解くために立ち寄った人たちがフェスタに参加する姿も見受けられた。

当日の様子はYouTubeで配信され、のべ約1300回の視聴があった。



「インターネットで教会のあるところを探したら見つけた。ミサに与れる場所が分かったので満足している」。若い外国人が話してくれました。この探求の源は、神への信仰にあると思えました。

この回勅『信仰の光』が書かれてから10年が経ちましたが、読み直したときに、これまで以上に新鮮な内容だと感じました。教皇ベネディクト16世によって起

草され、教皇フランシスコによって完成された回勅です。教皇は、「信じる者は、信仰のたまものを受け入れることにより、新しい被造物へと造り変えられ、新たなあり方、すなわち、子としてのあり方を受け取る(19)」と言います。信仰は、自分自身を変容するようにと招く本物の「光」になるのです。

この本を読んで、私の信仰はさらに強まりました。イエスへの信仰は光であり、私たちの闇を照らす光だからです。ぜひ、この豊かな本を味わい読むことをお勧めします。教会の母であり、私たちの信仰の母であるマリア様と共に歩むことができまよう。

日本地区は、1948年

「インターネットで教会のあるところを探したら見つけた。ミサに与れる場所が分かったので満足している」。

草され、教皇フランシスコによって完成された回勅です。教皇は、「信じる者は、信仰のたまものを受け入れることにより、新しい被造物へと造り変えられ、新たなあり方、すなわち、子としてのあり方を受け取る(19)」と言います。信仰は、自分自身を変容するようにと招く本物の「光」になるのです。

配信動画



(文) カトリック芦屋教会

次回、最頼巖流神父様(聖ザベリオ宣教会)です。

若者の読書感想文募集

① 年齢は35歳まで。カトリック信者、もしくはカトリック教会と何らかの関係がある方(カトリック校や諸施設の在籍者又は卒業生、保護者、関係者など)。

② 感想は400字程度。氏名、所属、顔写真(自由)を添えてメール(jiho@osaka.catholic.jp)か郵便にて送付(掲載にあたり編集する場合あり)。

③ 感想を送ってください。方全員に教区オリジナルしおり(4枚組)を進呈。たくさんのご投稿をお待ちしています。

草され、教皇フランシスコによって完成された回勅です。教皇は、「信じる者は、信仰のたまものを受け入れることにより、新しい被造物へと造り変えられ、新たなあり方、すなわち、子としてのあり方を受け取る(19)」と言います。信仰は、自分自身を変容するようにと招く本物の「光」になるのです。

この本を読んで、私の信仰はさらに強まりました。イエスへの信仰は光であり、私たちの闇を照らす光だからです。ぜひ、この豊かな本を味わい読むことをお勧めします。教会の母であり、私たちの信仰の母であるマリア様と共に歩むことができまよう。

草され、教皇フランシスコによって完成された回勅です。教皇は、「信じる者は、信仰のたまものを受け入れることにより、新しい被造物へと造り変えられ、新たなあり方、すなわち、子としてのあり方を受け取る(19)」と言います。信仰は、自分自身を変容するようにと招く本物の「光」になるのです。

この本を読んで、私の信仰はさらに強まりました。イエスへの信仰は光であり、私たちの闇を照らす光だからです。ぜひ、この豊かな本を味わい読むことをお勧めします。教会の母であり、私たちの信仰の母であるマリア様と共に歩むことができまよう。

草され、教皇フランシスコによって完成された回勅です。教皇は、「信じる者は、信仰のたまものを受け入れることにより、新しい被造物へと造り変えられ、新たなあり方、すなわち、子としてのあり方を受け取る(19)」と言います。信仰は、自分自身を変容するようにと招く本物の「光」になるのです。

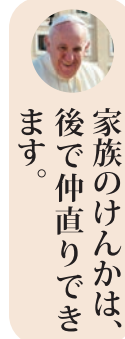
この本を読んで、私の信仰はさらに強まりました。イエスへの信仰は光であり、私たちの闇を照らす光だからです。ぜひ、この豊かな本を味わい読むことをお勧めします。教会の母であり、私たちの信仰の母であるマリア様と共に歩むことができまよう。

キーワードで読み解く 回勅 兄弟の皆さん

連載第6回(全7回)

酒井俊弘補佐司教

第7章「再び会う道」の教皇フランシスコならではのキーワードをご紹介します。



家族のけんかは、後で仲直りできます。

230 けんかはありますが、変わらないものがあります。家族のきずなです。家族のけんかは、後で仲直りできます。一人ひとりの喜びや悲しみは、皆のもの。そうなのです。家族であるとは、こういうことなのです。もし、政治的に対立する人や近所の人に、子ども、妻、夫、父親、母親に注ぐのと同じまなざしを向けることができたら、どんなによいでしょう。

242 いかなる家庭、いかなる地域コミュニティ、いかなる民族集団、ましていかなる国にとつて、団結させ、結束させ、違いを乗り越えさせる原動力が復讐と憎悪であるならば、未来はありません。……結局は、何もかも失うことになるのです。

251 真にゆるす人たちは忘れるのではなく、自分を傷つけたそれと同じ破壊的な力に取りつかれた状態から離れる決意をするのです。負の連鎖を断ち切り、破壊力の増大を押しとどめまします。……復讐は、何も解決しません。

258 わたしたちはもはや、戦争を解決策と考えることはできないのです。戦争によつて手にされるであろう成果よりも、つねにリスクのほうが大きいはずだから

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。



トマス・ティアゴ・ダ・コンセサオ・エステヴァオ神父

出身地 モザンビーク国 ナンプーラ市
生年月日 1989年4月7日
所属 ボアノヴァ宣教会
司牧担当 日本語研修

大阪教区の皆さんへ

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです」(ローマ1・16)

私は皆さんのために日本に来ました。私はキリストに従い、キリストを証しする道を皆さんと共に歩むことを願って、ここにいます。皆さんからキリストに従うことを学びたいと思っています。あなたの祝福を受けたいです。兄弟、仲間、友人として、神の愛を証しするあなたの道を共に歩みたいと思います。

バチカンのサイトから『兄弟の皆さん』の日本語PDF版を見ることができるようになりました。



たとえ日本では少数派であっても、私たちは死刑廃止論を訴えていかなければなりません。

わたしたちはもはや、戦争を解決策と考えることはできないのです。戦争によつて手にされるであろう成果よりも、つねにリスクのほうが大きいはずだから



ラジオ 信仰の時間

神さまの熱意
(12月18日放送分)



春名昌哉神父
(堺ブロック)

「ミサの朗読の中で一番好きな箇所はどこですか」。ある信者さんからこのような質問をされたことがあります。そのとき私は「全部好きですよ。でもその中でも一番と言われたら、『主の降誕』の夜半のミサの第一朗読です」と答えました。これから先も同じ質問をされたら、やはり同じ答えをしたいと思います。降誕祭夜半のミサの第1朗読のイザヤの預言(9・1~6)を読んでいると、神さまの私たち人間を救いたいという気持ちがどれほどのものだったかが伝わってくるからです。この箇所を朗読し分かち合いたいと思います。

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。あなたは深い喜びと大きな楽しみをお与えになり、人々は御前に喜び祝った。刈り入れの時を祝

うように、戦利品を分け合って楽しむように。彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者の鞭をあなたはメディアンの日のように折ってください。地を踏み鳴らした兵士の靴、血にまみれた軍服はことごとく火に投げ込まれ、焼き尽くされた。ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、『驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君』と唱えられる。ダビデの王座とその王国に権威は増し平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる」。

神さまは「闇の中を歩む民、死の陰の地に住む者」に大いなる光を輝かせてくださいます。闇の中で進むべき方向がわからず、希望を持つことができずにそこから動けなくなっている人びとを神さまは大いなる光で照らし、導いてくださいます。これは私たち人間の側から望んだことではなく、神さまが私たちのために望まれたことなのです。

旧約聖書の時代から人間は神さまを裏切り続けてきたといっても過言ではありません。最初の人間であるアダムとエバが犯した罪。モーセによって奴隷状態となっていたエジプトから脱出し、約束の地へと導かれたイスラエルの民は、エジプトで、また約束の地に向かう旅の途中で神さまのたくさんの業を見て

きたにもかかわらず、神さまを裏切り続けました。王国時代には、王も民も神さまが命じられたことを忘れ、目先の利益に走るなど、自分の欲望を満たすことに終始しました。神さまのわざを見てすぐは、信仰を増したはずなのに、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」のことわざの通り、時間が経てばその恵みを忘れ去り、自分の欲望に負けていく人間の姿。そんな人間を救おうと神さまは忍耐強く待ち続けてくださり、人間が回心することを望まれました。それほどまでに神さまは私たち人間を救いたいと望んでくださったのです。

キリストは私たちと神さまとの絆を結び直すために地上へと来てくださいました。ここに示された神さまの私たち人間への大きな愛。最愛のひとり子を私たちの救いのために遣わしてくださったことに心から感謝する日です。「万軍の主の熱意がこれを成し遂げる」。私たちもこの神さまの熱意を受けとめ、すべての人びとがキリストの平和のうちに生きる世界を作るために働く者となる。神さまの熱意を受けて、私たちも救いを告げる人になるのです。

毎週日曜日 5:50 ~ 6:00AM 放送
2月担当：松浦 謙神父
ABC ラジオ (朝日放送) AM1008/ FM93.3
スマホアプリの radiko でも聴けます。

イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

30年位前神学校での授業中に教授から、「最も苦悩するカトリック信者は誰だと思いませんか？」という質問が投げかけられたことがあった。神学生たちは誰も答えられなかったが、教授からは「それはパパ様(ローマ教皇)です」という答えが返ってきた。

2019年に来日された教皇フランシスコは、日本国内では行く先々で大歓迎を受けたが、他の国では必ずしもそうではないようだ。聖職者による児童虐待やミッションスクールでの現地住民子女への虐待などの責任を問う厳しい非難の声が教皇に向けられる。自分が直接やったことではないのにカトリック教会で起きたことすべての責任が教皇にはのしかかるのだ。カトリック信者の誰もが最も引き受けたくない奉仕職、それが教皇職であらう。

その教皇フランシスコは今年の世界平和の日のメッセージで、カトリック教会だけでなく世界を直面する2つの大きな危機、すなわち、新型コロナウイルスによるパンデミックとウクライナ戦争について言及する。

「だれも一人で救われることはない。
COVID-19からの再起をもって、皆
で平和への道を歩む」



教皇はまず、コロナ禍が社会の底辺に置かれた人を直撃し、弱者や困窮者を孤立に追いやることを指摘する。それは、自分と自分の属する家族・組織・社会集団の利益や救いのみを追求することに起因するのだと言う。ここから抜け出すためには、「ともに」という言葉を中心にして、世界の

教皇は、昨年新たに始まったコロナ禍以上の脅威であるウクライナでの戦争も同じ基準で見ている。わたしたちが自分の属する国家の利益のみ、つまりわが身の利益のみを願うことが戦争の大きな原因となるのだ。戦国時代の終わりに日本にやってきたフランシスコ・ザビエルは、血で血を洗う弱肉強食の時代に隣人愛「デウスのご大切」を我々日本人に伝えてくれた。「ご大切」の心を学んだ高山右近は、野に放り捨てられるしかなかった貧民の葬儀を丁寧に重にした。見も知らぬ人にも慈悲の心で接する『ミゼリコルディアの組』がやったことを世界レベルで行いなさいと、パパ様はおっしゃっているようにわたしには思える。

民族と国家が兄弟愛に生きることとしかないと断言される。たしかに、先進国の人がコロナワクチンを5回接種したとしても、最貧国で1回もワクチンを打てない人びとの間でコロナが蔓延し、そこで新たな変異種が生まれればそれは先進国にまた伝染する。自国だけを有利にという発想が、世界全体をさらなる悪循環に陥れてしまうのだ。

第56回「世界平和の日」(1月1日)
教皇メッセージを読んで
クラレチアン宣教会 竹延真治

世界平和の日
教皇パウロ六世は1968年1月1日、ベトナム戦争が激化するなか、平和のために特別な祈りをささげるよう呼びかけました。それ以来、全世界のカトリック教会は毎年1月1日を「世界平和の日」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るように祈っています。

▶本文はカトリック中央協議会ホームページよりご覧ください。

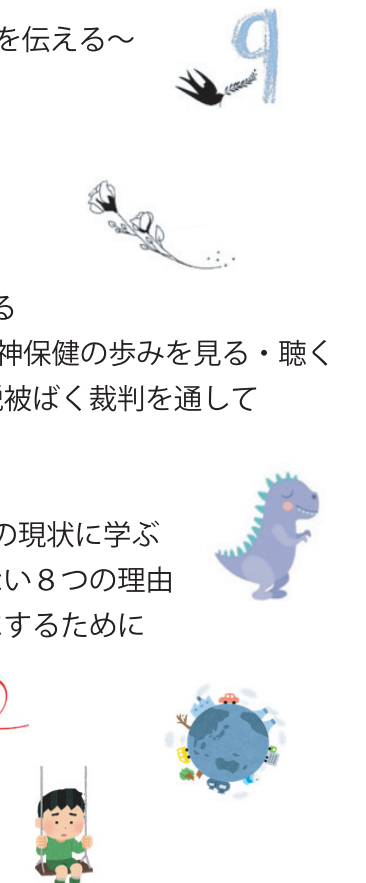
2021年「正義と平和大阪大会」分科会録画(動画)限定公開中

大会で開催された分科会(1~30、特別プログラム)の録画(動画)を編集したものを順次限定公開しています。著作権に抵触する部分や個人情報保護に抵触する部分は削除・編集しています。今後も準備が完了した分科会から、順次公開をします。教会のグループ学習等でご活用ください。視聴方法や申し込みはこちら



カトリック大阪教区ホームページ内「正義と平和大阪大会」のバナーをクリックしてください。

- 1: あなたへ繫げたい平和の誓い ~出生地門真市から憲法9条発案者 幣原喜重郎を伝える~
- 3: 沖縄の米軍基地を考える
- 5: 教会とエイズ・コロナ・LGBT
- 6: 教会内のハラスメントはなぜ起きつづけるのか -小さな気づきから大きな一歩へ-
- 7: 心の病と共に働き祈る
- 8: 日本に逃げてきてくれた難民たちと福音を生きる
- 9: 写真展 闇から光へ 知られざる沖縄戦後史~精神保健の歩みを見る・聴く
- 10: 人権問題から見た福島第一原発事故 子ども脱被ばく裁判を通して
- 11: 子どもの貧困「西成高校の取り組み」
- 12: ゴジラから見た正義と平和
- 14: 【社会の底辺に置かれた人々が生きる釜ヶ崎】の現状に学ぶ
- 15: 知っていましたか?いま地層処分してはいけない8つの理由
- 20: みんなの政治、みんなが政治、社会をすてきにするために
- 21: よりそいのヒント
- 22: 日本の労働者
- 26: 「拉致」を知り、共に祈る
- 29: 地球を大切にするにはどうすればいいか?
- 30: 子どもたちを誰一人取り残さない



◆◆自主上映会をしませんか◆◆

こうちゃんゆう 高 賞 監督
最新ドキュメンタリー

ワタシタチハ ニンゲンド!

外国人学校に対する官製ヘイト、技能実習生、難民、入管の実態など外国人差別の本質にせまる。

2022年 114分

●自主上映希望の方はシナピスマでお問い合わせください。
☎: 06-6942-1784 FAX: 06-6920-2203
E-mai: sinapis@osaka.catholic.jp



◆◆映画上映のご紹介◆◆

3.11 東日本大震災を前に

「生きる」

84人が犠牲になった宮城県石巻市立大川小学校津波訴訟の遺族を追った10年の記録映画

「あの日、何があったのか」「事実と理由が知りたい」親たちの強い思い。弁護団はたった2人の弁護士。親たちが「わが子の代理人」となり裁判史上、画期的な判決に。<第七芸術劇場ホームページより>



第七芸術劇場にて 2/25 より上映予定
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町1-7-27
サンボードシティ 6F
TEL: 06-6302-2073 MAIL: nanagei@nanagei.com

「在留許可を求める子どもと歩む会：ぬくもり」設立

在留資格のない両親のもとで生まれ育ち、基本的人権が保障されていない外国ルーツの若者の声を聴いた日本のカトリック司教団は、「日本を故郷と思っている子どもたちとその家族を追い出さないでください。一人でも多くの人に在留特別許可を与えてください」と2022年3月に法務大臣宛の要望書を提出。その後、17人の司教全員がYouTube(動画配信サイト)でビデオメッセージを出し、オンライン嘆願署名キャンペーンを開始。

この司教団の動きに合わせ、7月2日に夙川教会で阪神地区の有志が「日本生まれで外国籍の子どもの『声』を聴く会」を開催。より多くの方に知っていただくため、9月23日に大阪梅田教会聖堂で「学習会」を開催。当事者のMさん(大学3回生)と弟のSさん(大学1回生)の訴えを聴き、これまでの裁判で弁護にあたってこられた空野弘弁護士が「入国管理法が改悪されないためには、この動きを止めないことが大切」と話された。会場で司教団のビデオメッセージを放映。より広く、より多くの署名を集めるために署名用紙での署名を開始。10月の大阪教区司祭月修でも、小教区や修道院での署名活動をお願いし、「署名」は3,206筆(12月末現在)が集まり、応援メッセージも多く寄せられた。

そして、思いを同じくする人たちが、小さな力を合わせて継続的に支援していこうと、12月3日に「在留特別許可を求める子どもと歩む会：ぬくもり」を設立。この会は、日本で生まれ育ちながら、在留資格を持っていない子ども・学生を、在留特別許可を得るまでの間、支援し、人権の確保に寄与することを目的とする。今後は、J-CaRM(日本カトリック難民移住移動者委員会)やシナピスと協働し、子どもたちの人権を守る社会にしていけるための支援活動を実施したい。なお、子どもたちが学業を継続するための経済的な支援も喫緊の課題であり、奨学金の設立を考えている。併せてご協力をお願いしたい。

「在留特別許可を求める子どもと歩む会：ぬくもり」 連絡先：090-3943-4416

【「東京クルド」上映会のお知らせ】

日時：2023年3月4日(土)13時半から
場所：夙川教会聖堂地下ブスケホール
ぜひご来場ください。



聞かせてください 神さまと出会った時のこと 〜エマオへの道で〜

第2回 高島政行神父(堺ブロック)

大阪府守口市の生まれ。4人きょうだいの末っ子。一番上の兄は、入園式の日から一人で電車に乗り、香里幼稚園に通ってしまふほど優秀でしたが、卒園式前の2月2日に肺炎で亡くなります。香里教会のシスターや神父たちの支えにより、家族は受洗。2月2日は「主の奉獻」の日。私たち家族は、兄が亡くなり、神様にささげ、キリストに出会うことができました。その恵みを感じています。

幼稚園の頃、かなり着古した服を着たスペイン人の神父と出会った。母から「神父さんは私たちのために、結婚もせず、死ぬときも日本で死んでいくはるんや」と聞き、なぜか「そうならないな」と思った。そして、玉造の小神学校に進みます。ある日、一緒に生活していた和田幹男神父に、「天国があつても神様おれへんかったらどうするの?」と聞くと、「そんなんでどうもええねん。僕は神様に賭けるんや」と。自分の人生を神様に賭ける、だから神父をやっている。なるほど、僕と一緒に。和田神父の言葉が、心の中に響き渡りました。英知大学に進み、ラグビーに明け暮れる毎日。卒業後は上智大学に編入する予定が、行き違いで、私が神学生をやると田口芳五郎司教に伝わり、私を離さない」という信仰を

ついていた。それで、「もういいです」と神学生をやめました。その後、大教員を経て、宗

持ち続け、いつか神様のものに帰り、光と一体になるときまで、そう信じて生きていきたい。死んだ兄や父母は、離れた世界にいてはなくて、今私と共に生きている。彼らの生きた証として、私は今を生きている。キリストも私たちの中に生きている。私がキリストの命を生きていることよって、人びとを支え、一緒に歩むことができればと思います。司祭をしています。

女が自分の乳飲み子を忘れるであろうか、母親が自分の産んだ子を憐れまないであろうか。たとえ、女たちが忘れようともわたしはあなたを忘れることは決してない。見よ、わたしはあなたをわたしの手のひらに刻み付ける。(イザヤ書49・15-16)

戦後まもなくミッシェンスクールを卒業し、市役所で働く。両親は医専に入れたがっていたがクララ教会に入会。1953年初誓願後、会での日々の担当は裁縫と台所で、シスター達の食生活に貢献された。小さな草花を愛で、絵が得意でちょっとしたスケッチを楽しみ、手紙にはいつも絵が添えられていた。



Sr. Maria Consoletta 村上良子(西宮聖クララ会)は、2022年11月18日、間質性肺炎による呼吸不全のため仁豊野ヴィラで帰天。93歳。静岡県出身。奉獻生活70年。



Sr. Dominika 恵(マリ・ルイズ・マン)(聖母被昇天修道会RA)は、2022年12月4日、老衰のため、あかつき特別養護老人ホームで帰天。89歳。ベルギー出身。奉獻生活69年。

箕面修道院で過ごした。日本を愛し、生涯を日本で過ごし、神と人への奉仕に徹した。1956年の終生誓願の指輪に刻まれた言葉は「御子とともにすべてのものをくたさつた」(ローマ8・32)であった。

マドリード(スペイン)のアルカラ・デ・エナレス教区司祭パウロ・セコ神父の父、ヴィクトル・セコ氏は2022年11月30日17時半(日本時間)の12月1日午前1時半)、白血病のため帰天した。84歳。

「生きる」難民移住者

門を叩き続ける人と、門をこじ開けてくれる人

去年の2月、タリバンの迫害を逃れて日本へ退避したロキアさんは今、シナピスの職員として関東のアフガニスタン人を支援する仕事をしています。ロキアさんを見て私は彼女の視点には海や陸の境界がないことに気づきました。

ある日、ロキアさんは「飢えと寒さに晒される子どもたちがいる」と相談してきました。「その子らはどこに住んでいるの?」と聞くのと「西カブール」と答えるのです。アフガニスタンでは、タリバンによって立



場の子どものために薪と小麦粉を配る緊急援助は、こども基金で承認され40万円を現地へ送りました。

冬季休暇を間近にして閉館の準備をしていた年の瀬、再びロキアさんから「寒波に見舞われて子どもたちが凍えています」と支援の要請がありました。もう年末の今では稟議を諮るのには難しい、と渋る私にロキアさんは現地の写真や動画を次々に送り続けるのです。私は担当者たちに相談メールを出しました。するとすぐに、こどもの里の館長の庄保共子さんから返事がきました。「これは緊急対応。今から送金する」と担当者からメールして、それでもし後からめめるようなら、こどもの里がカンパします」との一言に背中を押された私は、閉館間際の12月29日、追加の30万円を送金しました。

合議だ年末だと躊躇する私に「うん」と言わせるまで迷わず門を叩き続けるロキアさんと、「送金が先。それでもめたら私が引き受ける」と受けて立つ庄保さんと。空腹で凍える子どもがいたら大阪でもカブールでも等しく助けるのみ。単純明快な二人の実行力に私は頭を下げるしかありませんでした。

(文)シナピス事務局
ピスカルド篤子

カトリック墓地 納骨堂・納骨所 使用者募集

大阪教区の信者のみがお申し込みいただけます。詳細は資料をお送りいただくか、インターネット上でご覧いただけます。

資料請求やお問い合わせは 教区本部事務局 管理課 竹中まで 06-6941-9705

来、見なほ



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」

日時 2/23(木)18:30~20:00
講師 酒井俊弘補佐司教
場所 サクラ ファミリア /YouTube配信あり
問 ☎06-6941-9700
主催 使徒職養成委員会

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと~エマオへの道で~◆大阪教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をさく

日時 2/6(月)18:00~19:30 (夜の部)・2/7(火)10:30~12:00(昼の部)※両日とも同じ内容となります
おはなし 野田正弘神父

コレーン神父と学ぶ聖書◆マルコ福音書におけるイエスと共に~十二使徒の姿と歩み~

日時 第2(月)13:30~15:00 (1~4月開講)
参加費 ¥500

「新生の明日を求めて」読書会◆大阪教区のシノダリティ(ともに歩む)の原点を確認しよう

日時 毎週(月)(第2は休み)14:00~15:30
担当 松浦信行神父

聖書通読会◆聖書のダイナミックな流れが感じられます

日時 毎週(木)10:00~11:30
担当 松浦信行神父

「YOUCAT(青年向けカテキズム)」勉強会◆老いも若きも、キリスト教を理解しよう

日時 毎週(金)19:00~20:00
担当 松浦信行神父

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を

日時 毎月17日 19:00~19:30

問 サクラ ファミリア ☎06-6225-8871
✉f.sacra@osaka.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会
日時 2/4(土)~2/25(土) 4回 16:30~18:00
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎0798-22-1649

六甲教会
日時 2/4(土)~3/25(土) 8回 17:30~19:00
参加費 ¥10,000(2名)
問 ☎078-851-2846
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家
◆日帰り黙想会
日時 2/9(木)・2/24(金)・10:00~15:30
指導 染野治雄神父(2/9) 山内十束神父(2/24)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 2/24(金)17:00~2/25(土)15:30
指導 染野治雄神父
参加費 ¥9,000

◆聖地エルサレムを学ぶ

日時 2/9(木)10:00~12:00
指導 笹田六合豊修道士
参加費 ¥1,000

◆ギリシャ語で味わう聖書のことば

日時 第1(火)10:00~12:00
指導 稲葉善章神父
参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカテキズム

日時 第2・4(水)10:00~12:00
指導 染野治雄神父
参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 2/1(水)10:00~12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講座・研修会

講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音

日時 毎月第3(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
問 岩村 ☎070-5045-7127
主催 神戸国際支縁機構

集い

シナピス主催◆オンライン祈りの集い~世界平和のために祈ろう~

日時 毎月第2木曜日 20:30から30分
テーマ 病者のために祈る
参加方法 Zoom(100名まで参加可能)
Zoomミーティング ID:761 071 2034
パスコード:123456
主催 社会活動センター・シナピス
問 ☎06-6942-1784 ☎06-6920-2203

✉sinapis@osaka.catholic.jp
HP https://sinapis.osaka.catholic.jp/

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い

日時 第4(土)14:00~16:00
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)
問 レネ神父・水元 ☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HP http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ「エッフアタ！」練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。フリーソフトcaptiOnlineを使いパソコンまたはスマホで練習します。
日時 毎月第2(水)10:00~12:00
場所 教区本部事務局 1階会議室
問 障がい者委員会 ✉dis@osaka.catholic.jp
主催 要約筆記グループ「エッフアタ！」

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い 守秘義務と分かち合い

いつ来てもウェルカム 当日キャンセルOK
日時 毎月第3(日)14:00~16:00
場所 姫里集会所
参加費 ¥100
申込 吉川まで
問 ☎078-583-2525
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

カ障連大阪フレンドリー◆点字部の勉強会

対象 パソコン点字に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時 奇数月・第2(火)13:30~15:00
場所 姫里集会所
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324 ☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

マザー・テレサ共労者の集い
日時 第1(土)14:00

場所 大阪梅田教会
問 高塚 ☎06-6921-0693
姫路・加古川・六甲教会はコロナ禍が収まり次第再開

大阪教会管区部落差別人権活動センター主催講演会◆「感染症と差別」

日時 2/4(土)14:00~17:00
講師 徳田靖之さん(弁護士・「らい予防法」違憲国家賠償請求訴訟西日本弁護士共同代表)
場所 サクラ ファミリア
参加費 無料
主催・問い合わせ 部落差別人権活動センター ☎075-366-6609
✉buraku@kyoto.catholic.jp
共催 日本カトリック部落差別人権委員会

難民支援チャリティ・コンサートいのりの花束2023 ~武器を置いて 歌をうたおう~

日時 3/18日(土)14時開演
場所 六甲教会主聖堂
出演 こいずみゆり・山下憲治
参加費 無料・自由献金あり
主催 いのりの花束実行委員会
問 ☎090-9995-3269 角田

WYDリスボン大会2023 公式日本巡礼団

テーマ マリアは出かけて急いで山里に向かった(ルカ1・39)
年齢 18~35歳
参加費 45万円(予定)
マ切 4/20頃
日程 ①17日間コース: 7/25~8/10
②15日間コース: 7/26~8/9



【お詫びと訂正】

・本紙1月号2面「黙想と巡礼の旅」2段目・右から3行目(誤) 聖墳墓教会 (正) 聖誕教会
お詫びし、訂正いたします。(編集長)

行事等日程			
2月			
2	木	主の奉獻 [常任司教委員会]	22 水 灰の水曜日(大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節中)
3	金	福者ユスト高山右近殉教者	3月
4	土	ユスト高山右近列聖祈願のつどい	1 水 10時 顧問会
5	日	日本26聖人殉教者	9 木 [常任司教委員会]
8	水	10時 顧問会	10 金 性虐待被害者のための祈りと償いの日
11	土	世界病者の日	17 金 日本の信徒発見の聖母
12	日	新教会建設献金の日	20 月 聖ヨセフ
13	月	[定例司教総会](~17日迄)	

【教区本部事務局】
▽野田正弘神父(豊中教会主任)および教区本部事務局次長 ※2022年12月12日付

案内・報告 司牧者人事

編集後記

暗がり、クリスマス・キャンドル・ワークショッ
プで頂いたろうそくに火をつけてみました。暖房を切
ってしばらくすると、足元
からしんと寒さが伝わ
ってきます。それでもキャン
ドルの明かりは暖かく、
落ち着きを与えてくれます。
▼おしゃやれでろうそくを灯
したわけではありませぬ。
ロシアの侵攻に対して戦っ
ているウクライナと連帯す
るためです。▼ロシアはド
ローンやミサイル攻撃でウ
クライナの電力インフラを
破壊し、各地で停電が発生
しました。暗闇の生活に慣
れざるを得ない人びとの感
覚を少しでも共有したいと
試みました。▼この2月で
侵攻開始から一年です。一
刻も早く平和を！ ろうの
ような熱いものが心に溢れ
ました。
(広報委員会 川柳裕明)

2月司教予定

(左記「行事等日程」以外)

・19日(日) 和歌山紀北教会堅信式(†S)
†M=前田万葉大司教 †S=酒井俊弘補佐司教



ひとりで悩まないで
~私たちに聴かせてください~
カトリック大阪大司教区
セクシュアル・ハラスメント
相談窓口

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間

月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時~午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は守られます。

大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療
ホスピス(緩和ケア)
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会
理事長 前田万葉 大司教
チャレン 松本信愛 神父

〒562-8567
箕面市粟生間谷西 6-14-1
☎072-729-2345

